

東京都ロボット産業活性化事業 「AUTOMATICA2016」に出展 ～海外でのロボット活用に向けて～

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、都産技研）は、ドイツ・ミュンヘンで開催される「AUTOMATICA2016」（6月21日～24日）に出展します。

都産技研と中小企業が共同で開発した移動ロボット用のプラットフォーム「T型ロボットベース」をはじめ、世界各地の観光地やさまざまな施設での活用が期待できる「多言語対応先導型案内ロボット」を紹介します。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた、案内ロボットの可能性を提案します。

■ 出展概要

来場者と対話しながら先導し、東京都の観光名所を紹介する案内ロボットのデモンストレーションを行います。2020年、競技大会の会場や観光案内に対応するロボットの魅力を発信するとともに、海外の美術館や博物館等の文化施設、駅や国際空港等の公共施設など、さまざまな場面で案内するロボットの活用・導入促進、ビジネス機会の拡大支援を行います。

＜その他共同研究企業の展示物＞

- ・株式会社システムクラフト（東京都立川市）
移動型ベースロボット「SCIBOT」
- ・WHILL株式会社（神奈川県横浜市）
パーソナルモビリティ「WHILL Model A」



パーソナルモビリティ
WHILL Model A



先導型案内ロボット
Pyxis(ピクシス)

＜AUTOMATICA2016の概要＞

名称：AUTOMATICA2016 【国際オートメーション・メカトロニクス専門見本市】
 会期：2016年6月21日（火）～24（金）9：00～17：00
 会場：ドイツ・ミュンヘン見本市会場 【Messe München】

【お問い合わせ】 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

ロボット事業推進部ロボット企画グループ 竹内由美子 TEL 03-5530-2558 FAX 03-5530-2400
 経営企画部広報室 山口美佐子 TEL 03-5530-2521 FAX 03-5530-2536

東京都は、日本各地と連携して、双方の強みを生かし、双方に高い効果が見込まれる産業施策を「ALL JAPAN & TOKYOプロジェクト」として実施しています。今回の展示物のうち1商品については、本プロジェクトの施策として、共同研究開発に取り組んでいます。

(<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/all-japan/index.html>)

「ALL JAPAN & TOKYOプロジェクト」のお問い合わせ

東京都産業労働局総務部企画計理課 伏見、齋藤 TEL 03-5320-4667

<http://www.iri-tokyo.jp/>